

予習プリント⑤「健康に関する環境づくり」

組 番号 氏名 \_\_\_\_\_

1. 健康づくりを支える環境

健康のために、意思決定や行動選択をしていくことはとても重要と学びましたが、個人のみでは限界があります。なぜなら、空気や水がひどく汚染されていたら、どのような行動を取っても健康を得るのは難しいからです。適切な(①)や社会環境は健康づくりの前提になります。

社会環境とは・・・(政治や(②))など、人間が作り上げた環境のこと

○国や自治体

健康に対してどのような(③)を立案し、(④)や(⑤)をつくっていくかということは国民の健康に大きく影響します。

例としては2003年に施行された(⑥「法」)で受動喫煙の防止が盛り込まれた。

○保健・医療

健康に対する正しい情報が国民に行きとどきやすい制度になっているか誰でも適切な医療を受けられるかなど、人々の健康と深く関係している。

保険証を使って皆さんは何割負担で医療を受ける事ができるか。(⑦割)

また、75歳以上の後期高齢者は何割負担か(⑧割)

○地域活動や人間関係

地域活動との関わりの多さや友人や家族との付き合いの多さが健康と深く関わっている。

2. ヘルスプロモーション

ヘルスプロモーションは1986年にWHOがスイスの(⑨)で開かれた国際会議で提唱された健康に対する考えかたである。

「人々が自らの健康をコントロールし、(⑩)することができるようにするプロセス」と定義されている。

考え方として、重要な点は、

①地域活動の活性化

②個人が適切な意思決定・行動選択を行えるような能力

③問題対処から予防や健康増進へと転換すること。

④健康に関わる環境づくりの住民の主体的な参加

この考え方は日本や(⑪)の健康に関する環境づくりの背景になっている。

教科書 P110 をよく読んでヘルスプロモーションについては理解しておきましょう！！